

補助金チェックシート(新規)

作成年度:令和5年度

1. 補助金の内容

補助金名称	カラス対策ネット等購入補助金	補助金番号	D2-2
所管部署	環境部循環型社会推進室家庭ごみ業務第2課		
根拠名称 (交付規則以外)	カラス対策ネット等購入補助金交付要綱		
制定状況	○ 制定済 ⇒	令和 年 月 日施行	
	○ 未制定 ⇒	令和 6年 4月制定、令和 6年 8月 1日施行予定	
交付の目的	補助金を交付することにより、カラス対策ネット等の普及・促進を図り、カラスなどの鳥獣によるごみの散乱被害を防止し、ごみ置場周辺における美化及び快適で衛生的な生活環境の確保に寄与することを目的とする。		
補助対象経費	カラス対策ネット等購入費		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	個人又は団体		
開始年月日	令和 6年 8月 1日(予定)	サンセット期日	令和 8 年度末
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助
法令等での義務付け	なし	法令等名称	その他 ○

2. 予算要求額

(千円)

	月補正	令和6 年度当初予算
要求(予定)額		2,000
特定財源	国庫支出金	0
	府支出金	0
	その他	2,000
一般財源	0	0

(件)

交付見込み件数	200
---------	-----

3. 「補助金の見直しに関する方針」との整合性

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は補助制度として承認されません)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	ごみ置場において、カラスなどの鳥獣によるごみの散乱被害を防止し、生活環境の美化を保つ観点から、当該補助金は広く市民の利益に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	当課での家庭系一般廃棄物(ごみ)の収集分野において、当該補助金交付は必要不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	平成29・30年度の類似補助制度の利用者アンケートで今後も継続して欲しいとの意見があり、また市議会からも要望が出されており、高いニーズであることを把握している。
有効性	期待する効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	補助金交付対象者に対するアンケートにより、当該補助金交付による効果を把握する予定。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	市民がカラス対策ネット等を購入する必要があることから、補助金交付が業務委託や直接執行と比較し、より適正で効果的な手法であると認められる。

公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	要件に該当する複数の個人又は団体を補助金交付対象としている。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	購入費の3分の1、上限10,000円としている。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	交付要綱に定める予定。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	今後、ホームページにて補助制度を公表する予定。 対応予定時期: 令和6年6月

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
○	他の類似制度と重複が無いか確認をしている。	✓	他の類似制度と重複が無いか確認をしている。